



2014年4月のロータリーレートは1ドル=102円 2015年 地区大会は10/24～10/25

**LIGHT UP ROTARY** ロータリーに輝きを 2014～15 RI会長 黄其光 Gary C.K.Huang (台北 RC)  
 ふるさとを育み 世界平和へ 2014～15 2610地区カバナー 永田 義邦 (高岡 RC)  
 多様性と団結力を活かして楽しく活動する ~みんなちがって みんないい 会長 宮永満祐美



## 例会優り

**第765回**  
**ホテル日航5F**  
 11.20(木) 19:00~21:00  
 例会出席率 22/36 61.11%  
 穴戸紀文 SAA 9月の平均出席率は67.44%

### 点 鐘

ロータリーソング『 ROTARY 』  
 四つのテスト

会長挨拶：「皆さん こんにちは 先週金沢で電話応対コンクール全国大会が歌劇座で開催されました。そのオープニングに金沢を紹介する DVD が放映されるのですが、それを見て大変感動し、また金沢のことを誇りに思いました。12年前の金沢での大会でも審査委員長をしま



したが当時は全くそのような気持ちになりませんでした。金沢百万石ロータリークラブで皆様と交流をさせていただき、金沢の分化に触れることができ、その思いが高まったのだと思います。また地元の選手の一人が入賞し、本当に良かったと思います。本日は沢山のゲストの方がお越しです。高崎から田中会長ありがとうございます。また布施様 私たちの金沢文化にまた茶道を加えていただけるかもしれないということで歓迎しております。一緒に楽しくさせていただければと存じます。」



**ゲストのご紹介** [卓話者] 金沢市自然環境保全審議会委員 舟田 節子 様  
 [米山奨学生] 楊 立山 様  
 茶道教授 布施 美枝子 様 石丸 恭子 様  
**ビジターのご紹介** 高崎RC会長 田中 久夫 様  
**皆出席顕彰**： 16カ年 金 沂秀会員



楊立山君挨拶：近況報告。後1ヶ月です。



高崎RC会長 田中 久夫 様： 午後6:20に金沢に着きました。4月4日(土)のRC交流の打ち合わせの為です。現在高崎には6RCがありますが、6月末で64名でしたが、28名増えましたので現在92名です。もうすぐ100名になるでしょう。又4/4には高崎には是非大挙して訪れて下さい。市長はじめ金沢市のきれいだころもつれて来て下さい。



## 《 食 事 》

### 幹事、委員会報告：



**井口千夏幹事**： 今田中会長さんが言われた様に高崎RCとの交流は4/4(土)です。富山西RCとの交流について、松川ベリの桜がきれいな時なので4/9(木)夜で如何かと先方より連絡があり、その日程ですすめさせていただきます。夜の会になります。金沢東RCがホムペ-ジを開設されたのでご連絡いたします。

**藤間勘菊例会出席委員** 出席委員会より10月の平均出席率は63.28%であることと、そのうち10月30日の例会出席率が71.42%が高かったです。



**武藤清秀親睦委員長**：先週ご案内いたしました「もみじ会(親睦会)」につきまして、お返事がまだの方に再度回覧をお願いいたします。公式の親睦会のない月にやります。

11/20の今夜は20:30～22:00で バー「マクリハニッシュ」木倉町2-4 TEL233-0072です。(本場イギリスの雰囲気を楽しめる大人のバー。東京、大阪の帝国ホテルやスコットランドのセントアンドルーズのホテルバーで経験を積んだマスターのおもてなし。樽生ビールやシングルモルトの他、ホテルレシピのカクテルは絶妙である。)





**高崎RC田中会長**：今日はよろしく  
**宮永会長**：舟田様 本日はよろしくお願ひします。田中会長ようこそおいで下さいました。  
**石丸会員**：先週の例会にて36年間皆出席となりました。おかげ様で長らくやれました。  
**井口会員**：舟田様 本日は卓話宜しくお願ひします。高崎RC田中会長 ようこそ百万石へ  
**上杉会員**：舟田様 本日のお話楽しみにしております。田中様、布施様、楊さんようこそいらっしやいました。  
**北山会員**：高崎RCの田中さん 本当によろこそ よろこそ。来年の4月いよいよですね。  
**炭谷会員**：友好クラブの高崎RCの田中会長様 本日は友好の為の相互交流プランの為、わざわざクラブ訪問していただき本当にありがとうございます。  
**藤間会員**：田中様ようこそ わざわざお出かけいただきありがとうございます。早く高崎と思ってます。

**水野会員**：舟田節子様 よろこそ。お話たのしみにしています。

**武藤会員**：先日、東京にいる娘が結婚しました。田中会長、舟田先生、布施先生よろこそ。本日のもみじ会楽しくやりましょう。

**村田会員**：高崎RC田中さん、お久しぶりです。よろこそ、よろこそ。舟田さんお話楽しみにしています。

講話の時間 『 高校教育を今一度考える 』

金沢市自然環境保全審議会委員 舟田 節子 (ふなだ せつこ) 様



プロフィール：

西村邦雄会員の4歳下の妹さん。S49年金沢大学理学部化学科卒。  
 28年間の自宅でのフランチイズ教室指導の後、藤花学園尾山台高校に奉職して7年目。担当は理科と数学。  
 趣味は登山で、石川県の山の紹介の他、日本百名山の完踏、ヒマラヤやアフリカへの海外トレッキングも。  
 貧しい国と日本、塾教育と学校教育、いわゆるエリート校と低学力校を体験してきたの「よりよく生きるための高校教育とは？」を模索、試行中。

卓話内容概略

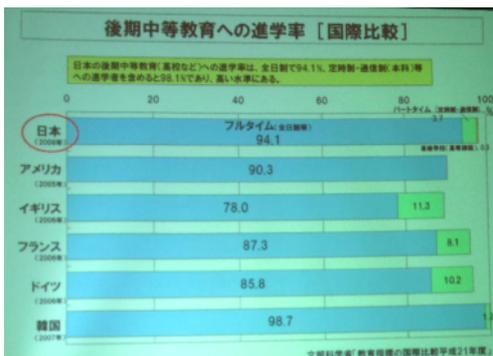
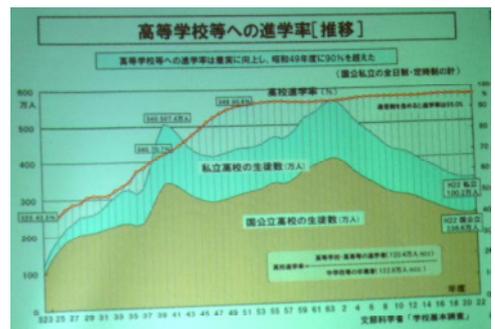
「教育を受ける権利」に向けての奮闘を評価され、マララさんがノーベル平和賞を受賞した。まず、貧困を抜ける鍵とされる教育。かたや日本は高等学校教育までが100%普及に迫ろうとしている。たしかに豊かな国の側にはなった。しかし、成績偏差値ランキングが、差別や人格否定につながり、格差社会や犯罪の遠因に。一律に高学歴社会への圧力が、第一次産業や第二次産業の空洞化を助長している。

社会への不適応としての「ひきこもり」や「うつ病などの発症」が、多世代にわたる。「よりよく生きるための高校教育」とは何だろう？  
 教育関連法規から曖昧なまま抜け落ちていった「職業観教育」を一つのヒントとして、具体的な事例を紹介する。

石川県の高校の偏差値ランキング2015を示す。

普通教育とは通例全国民の一般的基礎的な職業的、専門的でない教育である。義務教育と密接な関連を有する概念である。

教育基本法は60年ぶりに改正され、平成25年から適用された。学校の裁量により、多様性や実用性を実感し、生きる自信を持たすことが必要と提言している。-----



現在の教育の問題点を多くのスライドで説明された。



日本百名山の他キリマンジャロ等にも挑戦

## 小室直樹博士への挽歌

1977年小室直樹47歳当時、警察大学校と外務省研修所の講師を勤めていた。ここに碩学の好漢小室の度外れたエピソードが残っている。

そもそも警察大学校の講師に採用された理由、それは小室がたびたび酔って交番に乱入し、警察官に絡んだ際に、刑法、刑事訴訟法の条文をあげて理路整然とクダを巻くところを見込まれたからだという。外務省研修所の講師をクビになった理由がまたすごい。それは外務省の教育担当者に「小室先生は講義の中で、総理大臣を馬鹿者と発言された」と受講者から聞きました。本当にそんな発言をされたのですか？との問いに、小室は「いいえ、そんな風には言っておりません。正真正銘の大馬鹿野郎と言った！！」と答えたからだという。因みに当時は福田総理だった。

200ページくらいの単行本一冊なんかウイスキーをグイグイあおりながら、一晩でたいした取材もせず一気に書き上げた実力の持ち主、私には小室の場合は学問を追及、いや追いかけるのではなく、学問と併走する、むしろ当時の日本の社会科学はレベルが低いため、アメリカで先進的な社会科学を知得した小室の後を日本の学界の方が追いかけているような状態だったと考えている。

日本人でノーベル賞の栄に浴した人達は確かにすごい、学会アカデミズムから距離を置いた「無冠の帝王」小室直樹はすごい。もっとすごい。半端じゃない。その実力の程は、なんと1991年のソビエト連邦の崩壊を予言した。名著「ソビエト帝国の崩壊」を1980年（昭和55年）8月5日に出版している。実に11年前にソビエト連邦を研究、分析し、内部崩壊が進行しており必ずや完全崩壊すると白日のもとに天下に予言、広言、断言した。

その折、ソビエト通といわれた日本の学者やジャーナリスト達は、こぞってそんなことはありえないと否定していた。いや、世界中の誰一人としてソビエト連邦の崩壊を予想していない。その後のマルキシズムの凋落、マルクス経済学者の失業（皮肉を込めて）、マルクス・レーニン主義の終焉、副次的産物として、ベルリンの壁撤去、そして、中国の人民解放軍による民主化要求の著者達を虐殺した。かの「天安門事件」、東欧の社会主義国がドミノ倒しのように民主国家への脱皮、今でも混乱の続くウクライナのように、旧ソビエト連邦構成国内の戦乱と苦悶、以上のようにあまりにもスピーディーな20世紀末での大激動、大革命、大激変、これには「ソビエト連邦崩壊」の唯一人の予言者、本家本元、元祖開山「小室直樹」大先生ですらかなりあせるくらい、チビルくらいの猛スピードに“more and more slow”と口走ったとの噂もあるとかないとか？

いや、すごい。なんたる分析力。なんたる慧眼の持ち主。もしノーベル政治学賞が存在すれば、受賞は確実だった。

小室27歳のとき、第2回フルブライト留学生として1959年から1962年まで3年間、アメリカで研究生生活を送った。MIT、ハーバード、ミシガン大で、経済学、政治学、心理学、社会学を研究し30歳で帰国した。ところが渡米中に専攻を経済学から政治学、社会学へと変更したために、大阪大学大学院の担当、市村真一教授から破門された（市村は小室の頭脳に期待しており、出発前に当時すでに超有名だった経済学者ポール・サムエルソンを負かせてこい檄を飛ばした）。

やむなく阪大を中退し、その後31歳で東大政治学大学院に入学。ここで伝説となった東大田無寮に入寮（食費込みで月額3800円のアバラ家）し、この後10年間博士号取得まで滞在、赤貧生活を送った。六畳一間の部屋は荒れ放題。酒ビンと長靴、本とフンドシ、パンと雨漏り用のバケツが乱雑に置かれ、室内をネズミが走り回り、飼い猫が追っかけ、畳はささくれ立って絨毯のようで、そこからタンポポの花が咲いていた。

入寮から3年目くらいから、この部屋で自主ゼミ〔Tanashi School of Economics〕を主催。大学院生に理論経済学を指導する。また、その理解のために必要な数学を教え、博士論文を指導する。これが伝説となった「小室ゼミ」の前身である。評判が評判を呼び受講者が増加して、廊下にまで溢れ出た。この頃の小室の口癖は『（小室様には及びませぬが、せめてなりたやサムエルソン）といわれる日が来る』と！！———私は思わず吹き出し爆笑した———その訳は、小室はアメリカ留学中にMITでポール・サムエルソン（近代経済学の大家で1970年ノーベル賞受賞）に師事したが、さながら自身の方が上であるとおどけてみせたジョークである。

1970年40歳のときに田無寮で行われていた自主ゼミが、本郷の東大文学部社会学研究室に移転、社会科学の復興、再生、そして既存の教育、研究の枠にとらわれない自由な研究活動の場を目指し、所属、専攻、年齢等を一切問わない「小室ゼミナール」が出帆した。1980年頃には毎週1回、朝9時から夜9時まで昼食も取らず12時間ぶっ通しで行われた。科目は数学、物理学、経済学、政治学、法学、社会学、心理学、人類学等、以上の学問は相互に密接に関連している。小室はそれをゼミ生に分からせるために1人の教師がすべて教えることが必要と考え、小室は以上の科目を実際に1人で教えた（自由ゼミのため単位認定なし、従って無料）。

この伝説の小室ゼミでは講義中、ゼミ生達一人一人に対して指名して鋭い質問を浴びせかけ、興に乗ればゼミは深夜にまで及んだ。フジテレビの「朝までテレビ」のような時間無制限一本勝負のようであり、また、ハーバード大学のマイケル・サンデル教授の白熱授業を、よりハードにした10数名の小人数の講義だった。以上が「伝説の小室ゼミ」といわれる所以である。

小室ゼミからは多くの俊英な学徒（橋爪大三郎、副島隆彦、宮台真司、盛山知夫等）が輩出した。私は彼らの講演や著書に接して感ずることだが、実に幅広い学識に驚かされる。もちろん小室先生のあの甲高い声による熱血指導と叱咤激励のなせる技だろう。小室先生はあの有名なロッキード事件に際して「一国の元最高権力者たる総理大臣を罰してはならぬ。収監される前に法務大臣は指導権を発動せよ」とテレビのコメンテーターとして放送中に発言し、物議を醸し出した。

このように、わが国では異色の思想化、保守派の論客、奇矯な言論人、学界の主流に位置せず、どちらかといえ

ば在野の学徒として一般の人々に知られていた。しかし、小室の本当の実力を学界アカデミズの権威者達（政治学、経済学、社会学等の一流の教授達）は認識しており、小室と論争でもやろうものなら、こてんぱんに言い負かされて、次ぎの日から学生の前に顔出し出来なくなるのを恐れ、大多数は小室の発言に異を唱えたりせず、無視、もしくはだんまりを決め込んでいた。

さて、小室先生は戦後日本が生んだ類例のない存在であり、間違いなく「知の巨人」と呼ぶにふさわしい。私はあえて「日本のマックス・ウェーバー」と呼びたい。小室先生は2010年9月4日に逝去されたが、御家族の意向で公表されたのが9月28日であり、私は新聞紙面で知り、哀悼の意と共に「巨星落つ」の感を持った。そして心の中で「先生の著作で随分勉強させていただきました。卓越したお教え本当にありがとうございました」とつぶやいた。

去る9月4日は小室直樹博士の4回忌でした。「合掌」

「もみじ会（親睦会）」バー「マクリハニッシュ」



宮永満祐美 村田祐一 金沂秀 武藤清秀

11/20 例会後集合、高崎 RC の田中久夫会長、卓話講師の舟田節子さん、布施美枝子さん、会員家族も参加、21:30 頃まで親睦談話をした。

出席者：西村邦雄  
舟田節子 藤間勘菊  
水野陽子 木場紀子  
北山吉明 宍戸紀文  
大路孝之 上杉輝子  
東海林也令子 石丸  
恭子 石丸幹夫  
田中久夫 井口千夏  
布施美枝子 の皆様

クラブ例会予定 2014-2015 年度

- 11/13 蒲田 敏文 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 経血管 診療学・放射線医学教授
- /20 舟田 節子 金沢市自然環境保全審査会委員
- /27 中村 元風 今九谷寮
- 12/4 **年次総会（菜香楼新館）**
- /11 大沼俊昭会員
- /18 年忘れ例会
- /25 休会

2014～15 役員・理事・委員会

(役員) 会長：宮永満祐美 外：魏賢任 副会長：若狭豊 幹事：井口千夏 副幹事：大路孝之

会計：上杉輝子 SAA：宍戸紀文 直前会長 野城 勲

(理事) 理事：二木秀樹 北山吉明 金沂秀 藤間勘菊 西村邦雄 武藤清秀

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事岩倉舟伊智 監査：後出博敏

(委員会) クラブ管理運営委員長：二木秀樹 副：東海林也令子 親睦：○武藤清秀 辰己クミ 水野陽子

金沂秀 川きみよ 上杉輝子 吉田昭生 杵屋喜三以満 魏賢任 大路孝之 高田重男

例会：(プログラム) ○東海林也令子 宍戸紀文 川きみよ 吉田昭生 (出席) 野城 勲 藤間勘菊

SAA：○宍戸紀文 稲山訓央 ニコニコ：○稲山訓央 若狭豊 友好・クラブ細則：細則 CLP 検討 江守巧

富山西 RC との交流岩倉舟伊智 木場紀子 金沢北 RC との合同例会二木秀樹 杵屋喜三以満 高崎 RC との交流村田祐一

金沂秀 藤間勘菊 直前委員長：西村邦雄

奉仕プロジェクト委員長：北山吉明 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 二木秀樹 大路孝之 稲山訓央

村田祐一 谷伊津子 社会：○村田祐一 谷伊津子 北山吉明 新世代・青少年○北山吉明

国際：○西村邦雄 世界社会奉仕 (R財団) 西村邦雄 ラオス支援 魏賢任 藤間勘菊 描き損じハガキ 江守道子

米山奨学会 木場紀子 奨学生の世話大路孝之 (カウンセラー) 野城 勲 青少年奉仕 国際青少年交換上杉輝子

ローターアクト研究会稲山訓央 上杉輝子 直前委員長：木場紀子

会員組織委員長：金沂秀 副：江守巧 会員増強：○金沂秀 岩倉舟伊智 武藤清秀 宍戸紀文

川きみよ 稲山訓央 大路孝之 修練 前期石丸幹夫 藤間勘菊 後期木場紀子 江守巧

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：石丸幹夫 広報：藤間勘菊 吉田昭生 ローター情報：炭谷亮一 石丸幹夫

会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 村田祐一

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、クラブ奉仕部門Bカウンセラー 炭谷亮一

社会奉仕委員会委員長 ローターとふるさとを考える委員会委員 谷伊津子

地区監査委員会委員長 後出博敏 R米山奨学会委員会副委員長 藤間勘菊

友情交換委員会委員 宮永満祐美

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 井口千夏